

☆ご自由にお持ちください☆

放射線だより

2023年11月
No. 9 (隔月発行)
担当：馬場俊明

from Radiation House

マンモグラフィ検査について

Wilhelm・Conrad・Röntgen
ヴィルヘルム・コンラート・レントゲン
1895年 X線発見



視触診、マンモグラフィ検診、超音波検診を含めた日本の乳がん検診の受診率は4割程度です。日本の乳がん検診のガイドラインの対象は40歳以上の女性ですが、20歳代、30歳代で乳がんが見つかる人もいます。

○家族に乳がんや卵巣がんになった人がいる

○良性乳腺疾患がある

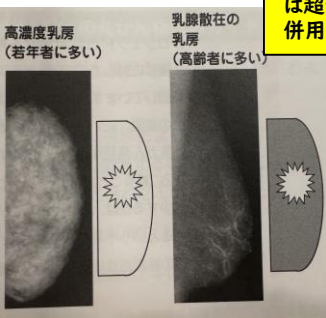
このような方は早めに検診を開始しても良いでしょう。

早期発見、早期診断、早期治療の為に検診を受けましょう。

乳腺画像の比較

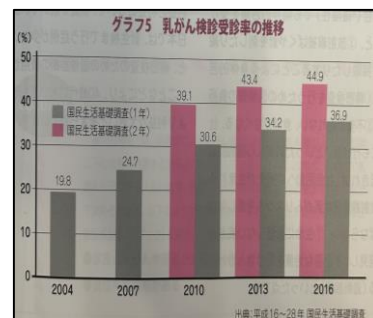
高濃度乳腺には超音波検査併用を

マンモグラフィと超音波の比較



	マンモグラフィ	超音波
得意	石灰化、脂肪が多い乳腺組織内の腫瘍(しこり)	高濃度乳腺の中にある腫瘍
不得意	高濃度乳腺の中にある腫瘍	石灰化や脂肪の中の小さな腫瘍

乳がん検診率の推移



マンモグラフィ検査結果は「異常なし」「要精密検査」の2つの結果が出されます。

「異常なし」の場合は2年ごとに検診を受けます。

「要精密検査」は疑わしいところがあるので精密検査を受ける必要があります。乳腺専門医がいる医療機関で検査を受けてください。要精密検査=悪性ではありません。

当院マンモグラフィ検査のこだわり

以前は他の健診項目の方と待合場所が同じでしたが、マンモグラフィ専用の待合室を作りました。



マンモグラフィ検診施設画像認定施設は必要な基準を満たし一定水準以上の画像を撮っている施設に与えられるものです。



(文責：岡)



骨塩定量検査について



骨密度とは、カルシウムやマグネシウムなどのミネラル成分が骨にどのくらい含まれているか、つまり骨の強さを表す指標です。骨塩定量検査によって、成人若者の骨密度の平均値を基準とした割合値で自分の骨密度が何%であるかが表されます。骨粗鬆症の早期発見、適切な予防や治療に役立ちます。

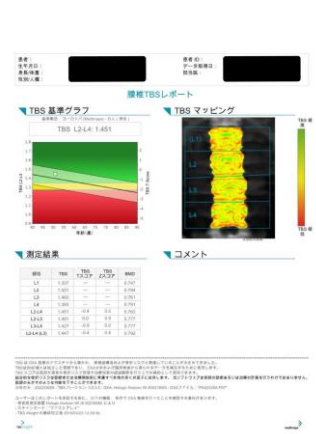
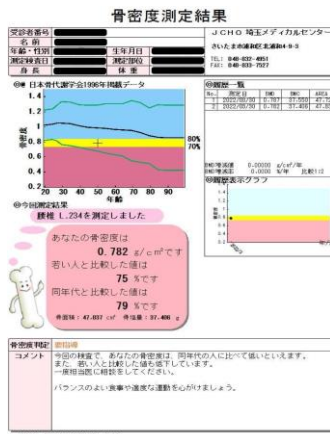
運動不足、過度の運動をしていた、身長が縮んだ、飲酒・喫煙の習慣がある、骨密度が低下している可能性が高いご高齢の方は受けていただくことをおすすめします。

また、骨粗鬆症は特に女性に多い病気です。40歳以上の女性の方は年に1回程度受けていただくことをおすすめします。

当院の骨塩定量装置の特徴

骨密度の測定法はいくつかありますが、当院では最も精度が高いとされているDXA法を用いて、骨折しやすい腰椎や大腿骨近位、前腕の骨密度を測定します。

検査結果は分かりやすくレポートにまとめられ、過去の測定値との比較をすることもできるため、定期的な検査によりさらに精度の高い診断が望めます。



腰椎の骨密度測定結果

腰椎のTBS

さらに当院では腰椎のデータを用いてTBS (海綿骨スコア) を解析するソフトウェアを採用しています。TBSは骨の質を表しており、骨折リスク評価や治療効果の経過観察を行う上での補助として使用されます。(文責:加藤)